

特別の教育課程の編成方針について

サレジアン国際学園小学校

1. 特別の教育課程の概要及び編成方針

本校では、2026年度よりインターナショナルクラスを開設し、国語以外のほとんどの教科を英語で学ぶイマージョン教育を開始いたしました。

世界98カ国に姉妹校を持つサレジアン・シスターズを経営母体とする本校は「21世紀に活躍できる世界市民力の育成」を教育目標に掲げています。イマージョン教育はその実現のための重要な手段と位置付けています。多くの教科を英語で学ぶことは、単に英語力の向上に留まらず、児童のグローバルマインドを育成することに大きく貢献すると考えています。

カトリックの視点からの Well-being Education(幸福の教育)を核とし、理性・宗教・慈愛に基づく教育を通して、自分だけでなく他者の幸せも考え実現するために働きかける力を育成します。

以下の5つの教育目標を軸に、神様から与えられた力を精一杯使い、グローバル社会で活躍できる児童を育成します。

- ①コミュニケーション力
- ②言語活用力
- ③継続的に考える力
- ④数学的及び科学的リテラシー
- ⑤Well-being Education(幸福の教育)

2. 特別教育課程で学習する教科の特徴

本校インターナショナルクラスでは1年生から英語を中心とした環境で学習を行います。低学年では年間170時間、中学年以上は年間238時間の英語の授業を実施します。また、教科の学習だけでなく、学校生活全般を通して英語でのコミュニケーション能力を高めていきます。英語による見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの素地となる資質・能力を育成することを目指します。

基礎的な英語力を付けるために GrapeSEED というメソッドを使って学習を進めます。また、COLABORATIVE CLASSROOM というメソッドを使って、主体的に読み、考え、話し合い、書く力を伸ばしていきます。

高学年では中学校・高等学校レベルの内容も一部学習に取り入れ、小学校卒業時にはCEFR B2 以上の英語力取得を目指します。

英語以外の他教科の学習においては、使用言語が英語であっても、一条校として、日本の文部科学省の指導要領に示された内容を網羅できるカリキュラムに沿った学習をします。また、国語は日本人教員が担当し、学年相応の日本語力を身につけられるようにします。